

「臨時災害放送局の高度利用に関する調査検討」

報告会・公開試験

中国総合通信局では、災害の被害軽減のために開設する臨時災害放送局について調査検討を行うため、「臨時災害放送局の高度利用に関する調査検討会」を開催しています。

この調査検討会は、被災地が広範囲にわたる場合、追加的に臨時災害放送局の中継局を設置する必要がありますが、**全国で初めて**、FM同期技術等を活用して、同じ周波数で放送する臨時災害放送局を複数開設する場合の技術的条件等を2か年度の計画で検討します。

本報告会では、臨時災害放送局の現状と課題や事例紹介、今年度の調査検討の報告と室内での同期放送の**公開試験**を実施します。

とき

令和2年 2月25日 (火)

(受付13:00) 13:30~15:30

入場無料
定員50名
(先着順)

ところ

広島YMCA国際文化センター3号館多目的ホール
(広島市中区八丁堀7-11)

■ 第1部 臨時災害放送局の現状と課題

- ・ **概要説明**：広島市立大学大学院 情報科学研究科 教授 西 正博 氏
(臨時災害放送局の高度利用に関する調査検討会 座長)
(概要) 臨時災害放送局の現状と課題、今年度の調査検討会の概要説明
- ・ **事例紹介1**：長岡移動電話システム株式会社 代表取締役社長 脇屋 雄介 氏
(概要) 新潟県中越地震や東日本大震災等での臨時災害放送局の取り組みについて
- ・ **事例紹介2**：熊野町 総務部地域振興課 主査 石田 裕 氏
(概要) 平成30年7月豪雨での臨時災害放送局の取り組みについて

■ 第2部 「臨時災害放送局の高度利用に関する調査検討」の報告・公開試験

- ・ **報告者**：株式会社NHKテクノロジーズ
(臨時災害放送局の高度利用に関する調査検討会 事務局)
(概要) 今年度の調査検討の報告
臨時災害放送局による同期放送の公開試験・機器展示

主催：総務省中国総合通信局、中国情報通信懇談会



総務省

FAX または E-mail にてお申込みください。

申込期限 令和2年2月20日(木)17時必着

E-mail

denpa-bukai@soumu.go.jp 宛て

※下欄の必要事項を記載の上、件名を「報告会参加希望」として送信してください。

※受付完了の旨の連絡はいたしません。定員に達した後の申込について連絡します。

FAX送信先

082-222-3373

中国総合通信局 無線通信部 電波利用企画課 行

○会社名(団体名) _____

○所在地 _____

○ご連絡担当者 _____

・E-mail _____

・電話番号 _____

【参加者】

会社名(団体名)	部署及び役職名	お名前

※ 申込みが定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。

※ いただいた個人情報は、本報告会開催に係る連絡に使用します。なお、報告会終了後は速やかに処分いたします。

◆お問い合わせ先：

中国総合通信局 無線通信部 電波利用企画課

E-mail：denpa-bukai@soumu.go.jp (082)222-3355